

# 小規模企業景気動向調査

[平成30年8月期調査]

～猛暑や台風等の影響を受け、停滞気味の小規模企業景況～

2018年10月3日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年8月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…猛暑や台風等の影響を受け、停滞気味の小規模企業景況…◇

8月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)が不変で、採算DIと資金繰りDIがわずかに改善、売上額DIのみわずかに悪化した。経営指導員からは、猛暑により衣料品や清涼飲料等の売上の増加や夏休みによる観光需要が増えているという声がある一方、7月豪雨災害による道路の寸断や台風の到来により観光客の減少がみられるとの声もあった。猛暑や災害がもたらす影響が地域・業種によって大きく異なり、全体的には停滞傾向となった。

## <製造業> ◇…一部業種が活況も、原材料高・人手不足が足を引っ張る製造業…◇

製造業の業況DIと売上額DIはわずかに改善、採算DIと資金繰りDIは小幅に改善した。新しい機械や技術を入れた企業が売上を伸ばしたり、お盆休みの生産増強で食品製造業や機械関連製造業を中心に活況を呈した。また、猛暑の影響により、清涼飲料や冷菓等の季節商品の売上が伸びているという声がある一方、豪雨災害の影響により原材料の納入が滞ったり、工場用水が使用できなかつたりと、生産に影響がでている地域もある。一部業種では、原材料・原油価格の高騰により採算や資金繰りに影響がでているとの声や人手不足が引き続き深刻であるという声も聞かれた。

## <建設業> ◇…地域によって明暗が分かれるも、原材料高・職人不足が影をさす建設業…◇

建設業の業況DIと資金繰りDIはわずかに改善、採算DIはわずかに悪化、売上額DIは小幅な悪化となった。公共工事については、地域により明暗が分かれ、発注数が少ないため草刈り等の仕事で急場を凌いでいるという声のある一方で、災害復旧工事や学校の改修工事で高稼働を維持しているとの報告もあった。民間工事では、住宅建築を中心に来年の消費税増税を消費者が意識するようになり、発注が増えてきたとの声もあった。一方で、猛暑により作業環境が厳しく、作業効率の悪化を招いている。職人不足の影響が著しく災害復旧の工事が発注されても人手と工期の問題から入札に参加できないとの声が聞かれた。

## <小売業> ◇…天候の影響により客足が伸びず、厳しい状況の小売業…◇

小売業の業況DIと売上額DIは小幅に悪化し、資金繰りDIはわずかに悪化した。先月から続く猛暑によりビール、清涼飲料や冷凍品の売上が好調との声が聞こえるも、全体的には、猛暑や台風・大雨の影響により客足が鈍く、お盆や夏休みの時期にも関わらず消費は力強さに欠ける状況である。また、天候の影響により、農産物価格が高騰したり、輸送費の値上げがあつたりして採算を圧迫しているとの声も聞かれた。

## <サービス業> ◇…夏休み・お盆の需要を取り込むものの、食材高騰の影響を受けるサービス業…◇

サービス業の業況DIはわずかに悪化し、売上額DIは小幅に改善、採算DIと資金繰りDIにいたっては、わずかに改善に留まった。ホテル・旅館業では、夏休みやお盆の需要を取り込み、売上や稼働率を確保したり、合宿や工事関係者の需要により好調である。また、暑さが過ぎた下旬には理美容・クリーニング業も回復が見られた。一方で、猛暑や台風等の影響で、食材の価格が高騰し、利益は少ないとのコメントも寄せられた。

| 業種   | 産業全体   |        |       | 製造業    |        |     | 建設業   |        |       |
|------|--------|--------|-------|--------|--------|-----|-------|--------|-------|
|      | 7月     | 8月     | 前月比   | 7月     | 8月     | 前月比 | 7月    | 8月     | 前月比   |
| 売上額  | ▲ 8.8  | ▲ 10.0 | ▲ 1.2 | ▲ 6.9  | ▲ 5.5  | 1.4 | 4.0   | ▲ 0.8  | ▲ 4.8 |
| 採算   | ▲ 14.9 | ▲ 14.1 | 0.8   | ▲ 16.6 | ▲ 13.4 | 3.2 | ▲ 9.0 | ▲ 10.1 | ▲ 1.1 |
| 資金繰り | ▲ 11.0 | ▲ 9.4  | 1.6   | ▲ 11.2 | ▲ 6.5  | 4.7 | ▲ 7.6 | ▲ 6.1  | 1.5   |
| 業況   | ▲ 12.9 | ▲ 12.7 | 0.2   | ▲ 11.1 | ▲ 9.2  | 1.9 | ▲ 4.9 | ▲ 2.1  | 2.8   |

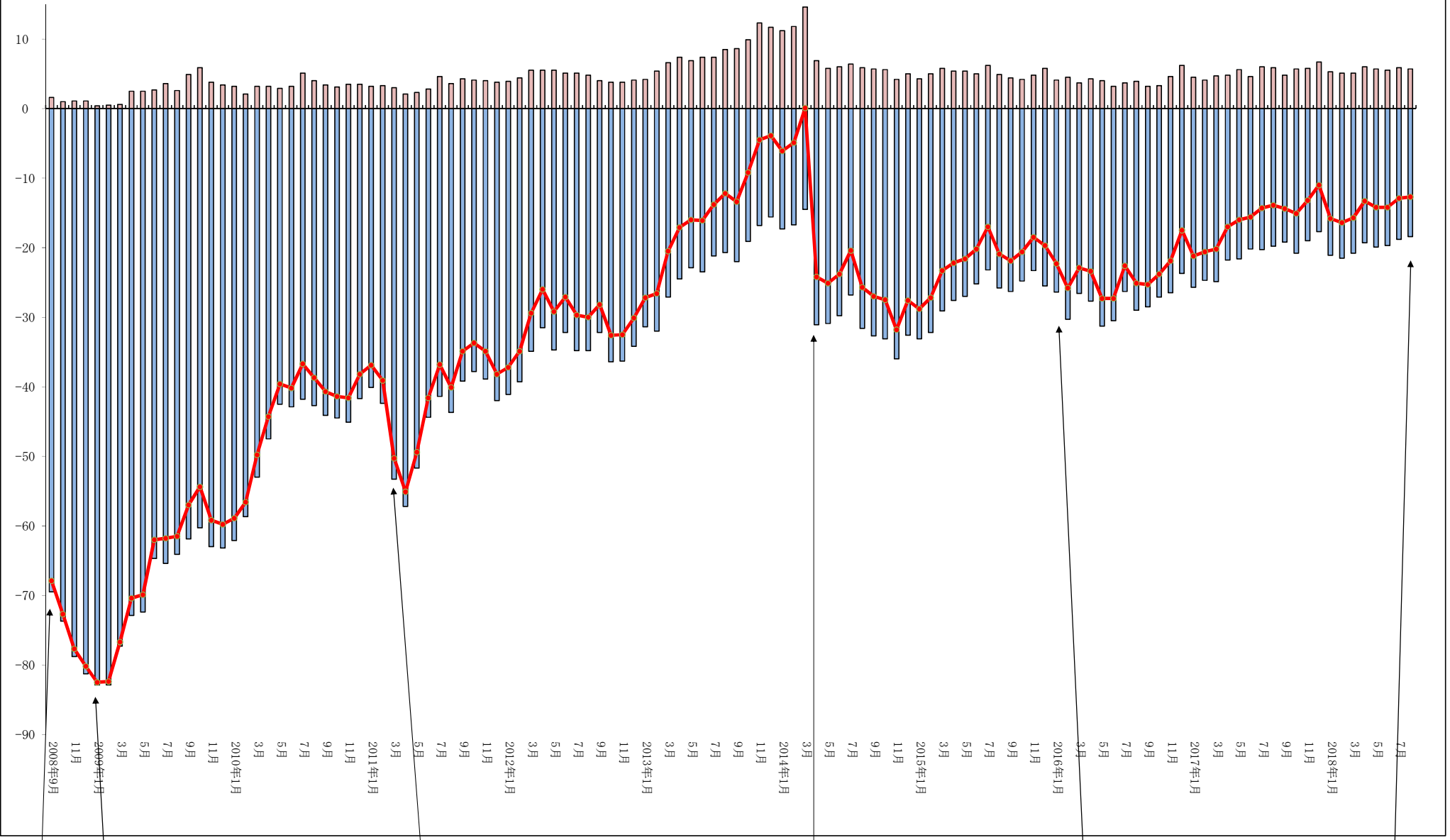
| 業種   | 小売業    |        |       | サービス業  |        |       |
|------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
|      | 7月     | 8月     | 前月比   | 7月     | 8月     | 前月比   |
| 売上額  | ▲ 17.0 | ▲ 21.2 | ▲ 4.2 | ▲ 15.5 | ▲ 12.5 | 3.0   |
| 採算   | ▲ 20.2 | ▲ 20.0 | 0.2   | ▲ 13.7 | ▲ 12.7 | 1.0   |
| 資金繰り | ▲ 14.1 | ▲ 15.3 | ▲ 1.2 | ▲ 10.9 | ▲ 9.9  | 1.0   |
| 業況   | ▲ 20.5 | ▲ 23.6 | ▲ 3.1 | ▲ 15.3 | ▲ 15.9 | ▲ 0.6 |

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



08年09月15日  
リーマン破産  
法適用申請

09年1月  
調査開始以来最低数値  
(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上  
げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

18年/8月  
-12.7

## 小規模企業景気動向調査(8月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・景況は良くないが猛暑の影響もあり一部業種によっては売り上げを伸ばした。金融機関は積極的に貸出を勧めるも借入はほぼ変わりなく少額で借り換えが主流。

(茨城県日立市十王商工会)

・観光シーズンや夏休み期間に入ったため、観光関連産業(宿泊業、飲食店)が好況であるように感じられる。

(沖縄県うるま市商工会)

・製造業において、猛暑による外出控えから売上減少、作業効率の低下が見られた。機械金属では先月に引き続き現状では好調で推移している。建設業では、補正予算や災害復旧による需要が高まっているものの、作業員の人材確保が課題となっている。小売業に関しては、猛暑による着替え用衣料品や飲料等購入による売上は好調であったが、結果としては前年通り推移。エアコン関連の売上は先月に引き続き好調であった。サービス業に関して、7月~8月初旬の猛暑による海水浴客減より一転し、盆以降に宿泊客が戻ってきたが、相次ぐ台風・災害等天候に左右され安定しない状況が続く。理・美容では人口減少、新規創業増による要因が売上減となっている。

(京都府京丹後市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

7月発生 of 豪雨災害により、直接被害はほぼないものの、風評被害により、観光来島者が減少しており、島内事業所の業況が悪化している。減少傾向は8月に入り緩和しているものの、前年と比較すると低い水準である。

(広島県宮島町商工会)

・観光客入込数は、台風の接近の影響もあったが、前年に比較してマイナスとなっており、宿泊客、団体客も減少、海外客も減少傾向。観光関連産業の景況が前年比マイナスとなった。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・仕入れにおいては全業種において上昇しているという回答が多く、特に石油関連商品が上昇している

(福岡県大刀洗町商工会)

・能勢町を縦断している基幹道路の国道が今年の台風で山崩れが発生して通行止め状態が続いており、沿道の商業施設やサービス業を営んでいる事業所の売上が激減しており、長引いていることで疲弊してきている。

(大阪府能勢町商工会)

・地場産業であるタイル業界の動きが悪い。通常、秋口から忙しくなるものの、今年にはにぶい。

そのため、加工業者の仕事もないため、厳しい現況が続いている。

(岐阜県笠原町商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・機械関連製造業は、お盆休みまえであるため、生産量を増加している。

(富山県上市町商工会)

・油麩の製造業者はお盆前の繁忙期で需要増加したが全体的には平年並みである。

(宮城県みやぎ北上商工会)

・金属製品関連の製造業は、国内景気の好調感と輸出関連における案件が増加傾向にあり、業況好転している感がある。

(茨城県坂東市商工会)

・畳製造業は比較的好調。生コンクリート製造業も近く of 高速道路拡幅工事が終了するまでは、まずまずといったところ。

(新潟県妙高高原商工会)

・繊維工業関連の製造業は、海外向け商品の需要が高まり、受注が増加している。

(石川県川北町商工会)

・食品関連の製造業は、天候により季節商品の売上が伸び、前年と比較して売上が増加した。

繊維工業関連の製造業は、設備導入による外注費削減により、採算が良化した。

(秋田県かづの商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・照明器具関連の製造業は、短納期に対応する為、残業時間の増加が目立っている。

(兵庫県丹波市商工会)

・道路の寸断により物が入ら無い、納品ができない、従業員が出勤できないなど影響があった。また、水をよく使う工場は稼働できないところもあった。

(広島県呉広域商工会)

・金属部品製造業については、受注が増加傾向であり売上は増加しているが仕入単価の上昇や原油価格の高騰により収益を圧迫している状況である。

(岐阜県本巣市商工会)

・食料品関連の製造業は、お盆の休日が飛び石の影響で客足は低迷し売り上げに影を落としている。仕入れ・経費は上昇したが十分に価格はできていない。業界の業況もわずかではあるが悪化の傾向を見せている。繊維工業関連の製造業は、熟練職人の確保が課題。外国人雇用する場合にはコミュニケーションの問題が大きい。

機械金属関連の製造業は、高回転型マシニングセンタの導入により、微細切削加工の引き合いが増加し、売上高も増加傾向にある。

仕入価格は横ばいであり、採算性は向上

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・水産加工業では、台風で漁が減ったため、仕入の量、価格が思うようにならない様であった。一方で豊漁のときもあり、それぞれの思惑やタイミングにより経営に若干の影響がでている。

(愛知県豊浜商工会)

・フレコンバッグ製造業では業況が良いため価格改定を実施して利益増を図っているが、原料価格高騰の影響で採算・資金繰りはやや悪化となった。

(岡山県備前東商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

・土木工事は減少しているが、学校の改修工事等、建築関係の町発注工事があつたため、建築業・電気工事業は高稼働を維持している。また、猛暑によるエアコン需要が高く、電気関係の売上に大きく寄与している。

(徳島県東みよし町商工会)

・建具関連の建設業は、来年10月に控える消費税増税の影響もあつてか、一軒家の建具が昨年に比べ、受注増加している。

(兵庫県太子町商工会)

・住宅建築において、消費税増税を消費者が少し意識するようになったと感ぜられるとのこと。

(石川県宝達志水町商工会)

・公共事業の発注は少なく、河川堤防の草刈り等で、息をついている状況。

(山梨県市川三郷町商工会)

・非常に安定した業況と言える。公共工事も動き出し、土木工事業は好調を維持している。建築関係も切れ目なく受注があるようで全業種においても4月以降好調最も好調を維持している業種と言える。

(福岡県鞍手町商工会)

・熊本地震の復興需要により、あと2年～3年は、売上増加が期待できると思われる。

(熊本県上天草市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・一人親方の建築業者がどんどん淘汰されている。また、一人親方は他社の下請けとして仕事をしているが、従業員扱いではなく外注扱いのため、保証も何もない状態で、安い請料で働いているのが現状。下請け代金をたたく元請が多くなっている。

(岐阜県古川町商工会)

・建設業関連事業者は、猛暑で作業の進捗が遅れ、運転資金が上手く回らない状況の事業所があつた。

(茨城県城里町商工会)

・鉄筋建築関連の建設業は、猛暑の影響により作業環境が厳しく、作業効率の悪化へと繋がっている。また、材料価格の上昇もあり収益圧迫している状況になっている。

(茨城県坂東市商工会)

・職人不足の影響から外注工事費や労賃が上昇してきており、今後採算の悪化を懸念する声がかかれた。

(宮城県高千穂町商工会)

・公共工事は低調。民間需要は、個人住宅・店舗等を中心に旺盛であるが、作業員不足と猛暑による作業効率低下。また、西日本豪雨の影響による資材確保困難により進捗遅延が顕著になっている。

(鹿児島県かのや市商工会)

・資材関係材料費(クロス、床材)の値上げが予定されており、今後の利益確保が懸念される。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

・土木関係は補正予算も組まれ工事発注量はあるが、これまでに応じた災害復旧、新年度工事などによって手一杯。人手と工期の問題から入札業者が入札に参加できないケースも起きている。

(京都府京丹後市商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

・食品小売業関連については大きな変化が見られないが、生花の卸販売業者については、繁忙期となり売上が増加した。

(茨城県城里町商工会)

・地域のコンビニエンスストアは来店者減少傾向だが、今年度の猛暑によりアイス等は順調の売れ行きだった

(佐賀県佐賀市南商工会)

・猛暑の影響は、特にビールの消費が増加し、種類取扱店では売り上げを伸ばした。お盆の入り込みも好調となっている。

(長野県根羽村商工会)

・猛暑や大型台風、雨の影響で客足が少なくなっているところが多いが、特にスーパーやコンビニなどでは、ビールや水、清涼飲料水、冷凍品を中心に売上が前年以上に伸びた

(兵庫県川西市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・パン屋などは夏場に売上が落ち込む傾向にあるが、酷暑のせいか例年以上に落ち込み幅が大きく資金繰りに影響が出てきている。

(千葉県印西市商工会)

・野菜青果販売業者は、異常気象の影響で、仕入価格が高騰し売れ行きが悪かった。

(東京都東久留米市商工会)

・自動車関連の小売業は電気自動車、自動運転機能等の新しい技術の普及によりカーディーラーの需要が高まり個人経営は厳しい状況となっている。

(大分県玖珠町商工会)

・衣料品関連の小売業は、売上は減少しているが、採算・資金繰り等の状況は前年と変わらない。消費者ニーズの変化への対応の必要性は感じているが、模索している事業所が多い。

食料品関連の小売業は、お盆の休日が飛び石であったため客足が低迷している。高気温の日が続いており、飲料水などの需要が増加しているがチャンスを生かし切れていない。

耐久消費財関連の小売業は、今年は新生活家電の動きが少なかった。今後、家電販売に向けて取り組みを行っていく。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・昨年同月よりも売上は多少減少。以前はこの時期に学校の体育衣料や祭用品が売れたのだが、最近では減ってきている。専門店や大型量販店に流れてしまっている(衣料品)

前年同月と比べて横ばい。毎年8月下旬は来客数・売上共に鈍化する傾向があり、今年も同様であった。(食料品小売)

(静岡県森町商工会)

## 5. サービス業

#### <改善傾向を示すコメント>

・洗濯サービス業は繁忙期で売上は増加している。

(茨城県城里町商工会)

・ホテル・旅館業においては、かき入れ時期であるため、台風等の影響が心配されたが、昨年同月並みの稼働率を確保する状況になっている。

理・美容業において、猛暑で客足が遠のく状況にあったが、盆明けの暑さが和らいだ時期に客が戻り、昨年並みの売上を確保できたところが多かった。

(宮崎県高千穂町商工会)

・旅館関連のサービス業は、天候に恵まれたことで、学生の合宿利用が好調だったことで昨年に比べ売上は2割増。新規利用も2校増加した。

洗濯関連のサービス業は、前年同月期と比較して、特段変化は見られない。

理・美容関連のサービス業は、8月は例年閑散期である。前年同月期と比較して特段変化は見られない。

(岡山県作州津山商工会)

・お盆前後の観光客入込数が大幅に改善し、旅館業を中心に業績↑。

付随して飲食店も偏りは見られるものの、総売り上げ高は上昇傾向。

(千葉県大多喜町商工会)

・個人消費が緩やかな持ち直していると感じる事業所が多い。

飲食業では、雨と台風の影響を大きく受けたところが多く前年比で売上減のところが多くみられた。

(兵庫県川西市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・冷房設備関連のサービス業は忙しい時期を迎えていたが、お盆の時期にも重なったことや、大型店に需要が集中したため大きく売り上げが伸びたといった結果には至らなかった。

(新潟県黒埼商工会)

・飲食業では、西日本豪雨災害の影響で休業中だった店舗がお盆前後から徐々に営業再開している。ただし、本格稼働には至っていない店舗も多く、被災前の状態に戻すには時間がかかる見込みとなっている。

(岡山県岡山北商工会)

・旅館…例年と比較し工事関係者の宿泊客の割合が多くなっている。猛暑の影響を受け、野菜が高騰しており利益を圧迫している。

洗濯…顧客中心ではあるが昨年同様の売上を確保。ただ、近隣地域の人口減少が進んでおり、新規客獲得も厳しいため今後の見通しは良くない。

理・美容…猛暑の影響により散髪等による客数が増加したことで、新規顧客が増加した。

(秋田県由利本荘市商工会)

・コテージが前年同月に比べ8割の売上と不調。台風の影響でのキャンセル等が原因。また、野菜の販売についてもとうもろこしの仕入れが難しいことが影響で不調。(コテージ)

例年通りの動きとなっている。同業者の出店・撤退等も町内ではみられていないため全体的に横ばい傾向。

暑さにより客足が鈍るのではと心配していたが、前年同月と比べて横ばい。新規顧客の獲得のためにも新しい試みをどんどん行っていきたい。(美容院)

(静岡県森町商工会)